おくざわ高広サポーターズでは、

価値観やライフスタイルが多様化する時代にあって、町田市に暮らす43万人"一人ひとりの 幸せ"がかなう未来へ向けて、共に活動する仲間を募集しています。

1. 一人ひとりを支え、伸ばす"共育都市"

子ども一人ひとりを地域全体で育み、誰もが共に支えあい、成長しあう町田へ。

2. 新時代の商都をつくる"創発都市"

官民の連携・共創により、まちの魅力を高め、新たな価値を創造・発信する町田へ。

3. 高齢者も障害者も安心して暮らせる"超福祉都市"

従来の福祉や医療に最新のテクノロジーを組み合わせ、誰もが安全安心に暮らせる町田へ。

4. 文化・スポーツ・自然が息づく"感動都市"

都市の利便性と自然の豊かさが調和し、感動=ワクワクと暮らしやすさが共存する町田へ。



部《空船通信Vol2



くざわ高広



- 1. 知っていますか?駅周辺の街づくり 町田駅・鶴川駅・相原駅周辺の街づくり構想
- 2. 町田の魅力発信プロジェクト 国内最大級のおでかけ情報サービス「aumo(アウモ)」 Instagramアカウント「行き先は町田」

1. 知っていますか?駅周辺の街づくり

町田市では、町田駅、鶴川駅、相原駅の周辺のまちづくり構想が進められています。賑わい づくりや快適な移動手段の確保など、駅周辺の再開発は、町田市の魅力向上にとって欠かせな い大切な事業です。一方で、全国を見渡せば、再開発を契機に閑古鳥が鳴いてしまうような失 敗事例も散見されます。町田市が大きく変わろうとしている今、ぜひ一人ひとりが街づくりを 考える契機にしてほしいと思います。

《町田駅周辺》

町田駅周辺の街づくり構想といえば、多摩都市モノレールの延伸が大きく取り上げられるこ とが多いですが、私が最も注目しているのは、森野住宅周辺の街づくりです。町田市役所や市 民ホールから見て、線路の南側に広がる都営住宅は老朽化が進み、5.5haという広大な土地が 再開発の対象となっています。ターミナル駅周辺で、これだけ大きな土地が残されているエリ アは都内を見渡しても数少なく、大きな可能性を秘めています。

実際に、先日マーケットサウンディング調査(企業等に対して有効活用のアイディアを募る もの)が行われ、全13社から、アリーナ、商業施設、シネコン、公園など様々な事業アイデア が寄せられたそうです。また、単独施設ではなく、住宅、宿泊、飲食、商業、医療、広場など との複合施設や公園の整備などの意見も出され、今後の議論に注目です。

≪相原駅周辺≫

つづいて、相原駅周辺の街づくりについては、町田市都市づくりのマスタープラン(2022年 策定)において、「生活拠点」に位置づけられています。地域の骨格となる道路網を構築する とともに、地域を支える生活利便施設を充実させることで、市内外の人が集い、自然や歴史・ 文化に触れながら学び楽しめる拠点を目指すとされ、町田の魅力をさらに高めてくれることで しょう。法政大学をはじめ、学生のエネルギーを活かす街づくりを期待しています。

≪鶴川駅周辺≫

鶴川駅では、小田急電鉄の駅舎改良工事と合わせて、南北自由通路や北口交通広場、南口の街づくりが一気に進められます。岡上からのアクセス改良はじめ、交通利便性の向上とともに賑わいを生み出す街づくりが期待されます。南口の街づくり以外は、2027年末からの使用開始を予定しており、住民説明会なども開催されています。説明会での質疑では、やはり交通アクセスへの質問が集中しましたが、まだまだ対話による改善の余地があるように感じるものでした。安全性と利便性の向上には、普段から駅を利用している住民の意見を踏まえることが極めて重要といえます。ご意見などございましたら、ぜひお寄せください。

このように、町田市では駅周辺の街づくりや学校跡地の活用、大規模な団地再生など、街をあげてのリニューアル期を迎えています。市民と行政と民間企業が一体となって、未来を議論する、そんな町田をつくっていきたいですね。

街づくりについて詳しくは ☞

2. 町田の魅力発信プロジェクト

町田市と町田市観光コンベンション協会は、国内最大級のおでかけ情報サービス「aumo (アウモ)」を運営するアウモ株式会社と、魅力発信に関する協定を締結しました。さらに、今回の連携を記念して、アウモが運営・開発する実店舗向けマーケティングSaaS「aumoマイビジネス」を町田市内の事業者様に対して無償で提供し、お店・施設等への認知拡大や集客に寄与するとのことです。私が、アウモ社と町田市を引き合わせたのは約二年前となりますが、こうして形になったことがとても嬉しく思います。

私自身も、Instagramを活用した魅力発信プロジェクトをスタートさせました。その名も「行き先は町田」です。町田市内の飲食店やイベント、自然やスポーツなどの町田の魅力を発信していますので、のぞいてみてください!













いいね!

フォロー

お願いします

おくサポインタビュー**第2回-宮島敬子さん-

Q. 自己紹介をお願いします!

はじめまして、宮島敬子です。みそソムリエとして手作りみそを 広める活動をしています。地元町田で育てた材料でみそを作りたい と思い、畑にも挑戦しています。

0. おくざわ高広さんはどんな人ですか?

いつも脳みそがフル回転しているイメージです。目についた街並みやお店について「どうしてここはこうなっているのだろう?」と疑問を持ち、改善点などをすぐ見つけ出します。だれにも頼まれていないのに(笑)。また、先日開催したみそづくりイベントでは、奥ちゃんが上手に雰囲気づくりをしてくれて、みんなで学んで楽しい会になりました。

Q. 生まれ育った町田市が、これからどんな街になってほしいですか?

町田は色々なお店があって生活するにはとても便利な上、町田駅を少し離れると自然もたくさんあります。私は自然が大好きなので、この自然はずっと残って欲しいです。スポーツも好きなので、FC町田ゼルビアやASVペスカドーラ町田の試合も楽しみの一つです。遠くに行かなくても楽しめる町田の魅力をたくさんの人に知ってもらえたら嬉しいです。

≪おくざわ高広プロフィール≫

- ・1982年5月1日 栃木県佐野市生まれ
- ・慶應義塾大学法学部政治学科卒業(体育会野球部ヘッドコーチ)
- ・三菱地所㈱、学習塾・通信制サポート校、衆議院議員秘書を経て、東京都議会議員一期
- ・都議会では、会派「無所属 東京みらい」幹事長や都市整備委員会副委員長などを歴任
- 2022年 町田市長選挙にて31,011名にご投票いただくも惜敗
- ・現在は、障がい者福祉施設 農福連携リーダー、教育系NPO法人 理事、 SNSを活用した魅力発信プロジェクトなど、町田の魅力向上に奮闘中!
- ・著書に、町田の魅力と未来像を描いた「町田独立宣言」







ゼルビア応援@国立競技場



スポーツと福祉の連携プロジェクト開始!



街頭活動つづけてます

2023年8月発行 発行元:チーム町田みらい 連絡先: team.machida.mirai@gmail.com